

# 中学校で運輸業紹介

## 運輸局主催 物流体験プログラム 大ト協協賛

【大阪】近畿運輸局について「をテーマに器輸送や運動部の合宿が主催し、大ト協などが協力するスペシャルプログラム」をみて、きいて、物流を体験しよう！」が、10月25日、豊中市立第七中学校の2年生約120人を対象に2日間行われた。次世代を担う子供達に普段接する機会が少ない物流について理解を深めてもらい、将来の職業選択の参考としてもらうことが目的。

1日目は同中学校での出前授業が実施された。田辺海運の上窪良和顧問が「船員の仕事

器輸送や運動部の合宿のお手伝い、さらには展示会・美術展の展示品輸送など、身近な物流も紹介した。さらに、「トラックドライバーはおお客様の世代を笑顔で支えてくくった。



講義の終了後は、校庭に4トのウイングトラック（CNG車）を展示し、生徒らはその大きさや迫力に驚きの表情を見せていた。

（中村優希）

ただける仕事。感謝の言葉が何よりもやりがいになる」と話した。

最後に幕末の思想家・吉田松陰の「夢なき者に理想なし」の言葉を引用し、生徒たちに向け「皆さんはさまざま可能性を秘めているので、勉強に励み、ど